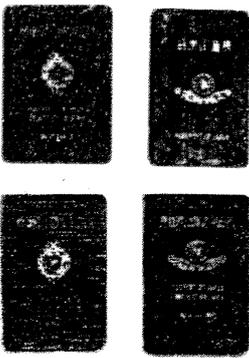
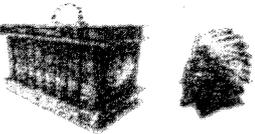
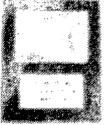


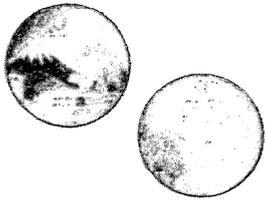
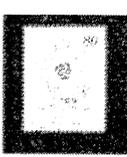
展示資料リスト

日本人メキシコ移住120周年記念企画展示
「メヒコの心に生きた移民たち」

展示期間：2017年9月30日(土)～12月24日(日)

	資料名	画像	解説	資料種別	所蔵
1	日墨修好通商条約批准書 1888年			文書	外務省外交史料館 所蔵
2	『移民調査報告 巻12: 墨西哥、秘露、マダガスカル島』 外務省通商局、1913年発行		本報告を著した荒井金太は檀本殖民を評して「失敗するのは当たり前。金を送らずに人だけを送ったのがまず第一の大きな誤りである。」として、「熱帯地は事業をする場所として利用すべきで、殖民するところではない。」と断じている。	文書	外務省外交史料館 所蔵
3	『西日辞典』 右文社、1925年発行			図書	東京外国語大学附属図書館 所蔵
4	ローマ字書きの手紙		照井亮次郎の長男 ホセ・一郎照井が川路賢一郎宛に送ったもの。幼少時に受けた日本語教育のおかげで、ローマ字で日本語を読み書きでき、日本人の信用を大切にしていたという。	文書	川路賢一郎 所蔵
5	照井アウロラのトランク		照井の妻 ロムアルダが亡くなり長女 アウロラは6才の時にメキシコから日本に帰国。その際に持参したトランクで、父 亮次郎が手作りしたもの。照井の長女 アウロラは村井二郎の長男 洋と結婚した。	標本	村井澄 所蔵
6	照井アウロラのドレス		メキシコからの帰国時に着用していたもの。	標本	村井澄 所蔵
7	メキシコ中央鉄道地図		照井亮次郎が使用したと思われるメキシコの地図。渡航経路が記載されており、以下の書き込みがある。 「紫線八余ノ旅行線」 「エスクイントラ迄僅カニ廿五里ヲ余ノミ。1906.三月」	文書	村井澄 所蔵
8	メキシコ移民のパスポート		寺本音楠のパスポート 1936年「再ビ墨西哥國へ(米國經由)赴ク」ため 1961年「近親者訪問のため」 津村義就のパスポート 1932年「商用ノ為 北米經由墨西哥國へ赴ク」ため 1940年「再ビ墨西哥國へ(米國經由)赴ク」ため 寺本音楠 略歴 和歌山県日高郡南部川村(現:みなべ町)の出身。7人兄弟の4番目であった音楠は、1904年にメキシコへ移住。シナロア州ロスモチス地区で農業と製氷会社を営み、弟 長七のほか、多数の和歌山県人呼び寄せた。1940年に一時帰国、同年11月、海外発展に寄与した功績により、総理大臣より感謝状が授与された。その後、世界情勢が悪化したため、そのまま郷里に留まった。1961年のパスポートは、戦時中、メキシコにいた娘と、戦後にメキシコへ渡った息子に会いに行くためのもの。 津村義就 略歴 和歌山県日高郡南部川村(現:みなべ町)の出身。寺本長七の呼寄せで、1932年メキシコへ移住。寺本経営の製氷、ソーダ水製造所に働き、戦時中はメキシコシティへ転住。戦後、自動車タイヤ修理工場を開業、その後、自動車部分品販売店を開業し、順調に業績を伸ばした。墨国日系人会や日墨協会設立時の役員に名を連ねており、1965年1月～1966年1月まで、日墨協会の会長を務める。長年のメキシコ日系社会への功績を称えられ、1984年、メキシコ和歌山県人として初めて、勲四等瑞宝章を授与された。妻は、音楠の娘、君子。	文書	寺本就一 所蔵

資料名	画像	解説	資料種別	所蔵
9 アルバム		右の写真は、1925年12月3日、シナロア州フロリダ植民地における葬式の際のもの。 左端が寺本音楠、左から3番目の手を胸にあてている人物が音楠の弟 長七。	写真	寺本就一 所蔵
10 『紀元二千六百年奉祝海外同胞東京大会の菜』 紀元二千六百年奉祝海外同胞東京大会本部、 1940年発行		1940年、神武天皇の即位から2600年目にあたるとされたこの年に、日本国内では様々な奉祝行事が行われた。その奉祝行事のひとつとして、同年11月に開催された海外同胞東京大会には、ハワイを含む北米、中南米、南洋、アジアその他、海外各国に在住するおおよそ1500人の日本人が参加。故郷に多額の送金を行うなど母国へ貢献した多くの参加者が表彰された。 このしおりは、寺本音楠が、本大会に参加した際に入手したもの。『奉祝紀元二千六百年と海外同胞』（奉祝紀元二千六百年と海外同胞刊行会、1941年発行）によると、音楠は、本大会役員に名を連ねている。	文書	寺本就一 所蔵
11 感謝状 [複製] 1940年11月4日		1940年11月4日、海外同胞東京大会において、寺本音楠が授与された感謝状。 内閣総理大臣 近衛文磨ほか、当時の関係者のサインが記されている。	文書	寺本就一 所蔵
12 アウロラ小学校の記念写真に写る、阿保徳哉と良 1911年頃 出典：『阿保家ファミリーヒストリー』（三浦宣秀、 2017年発行）		阿保徳哉と中西良 青森県南津軽郡田舎館村出身の阿保徳哉は、東京外国語大学スペイン語学科を卒業後、1911年にメキシコへ移住。アウロラ小学校において、日本語の教科書をスペイン語に訳し、ローマ字に書き直す作業を行った。また、1920年、日墨興業会社の商業部経営にもあたっていた。 ※日墨興業会社は、崩壊した模本植民計画を、日墨協働会社設立の道とは別に引き継いだ藤野辰次郎（滋賀県代議士）により開拓が進められた藤野植民地を、会社組織として支える目的で設立された組織。 岩手県和賀郡拾二鎗村（現：花巻市東和町）出身の中西良は、岩手県師範学校を卒業後、故郷で小学校の教師をしていたが、1911年、アウロラ小学校からの要請でメキシコに渡り、同校の教師となった。 のちに2人は結婚、7人の子どもに恵まれたが、1924年、徳哉のみメキシコに残り、良と7人の子どもは日本に帰国。その後、1925年、徳哉はメキシコで病死した。	写真	三浦宣秀 所蔵
13 メキシコで使用していた小物入れと壁掛け		良がメキシコから帰国する際、持ち帰ったもの。小物入れは、カラクリ箱になっている。	標本	三浦宣秀 所蔵
14 『かがやき：中央学園創立50周年記念』 中央学園、1994年発行		1944年12月に開校した中央学園は、1994年に創立50周年を迎えた。本書は、創立50周年を記念して刊行されたもの。50年間の本学園卒業生は358名にのぼり、大学教授、弁護士、医師、実業家等、メキシコ社会において様々な分野で活躍している。2014年には、70周年記念行事を開催。現在では、日系人子弟だけでなく、日本文化に関心のあるメキシコ人子弟も受入しており、メキシコで最も古い日本語学校として続いている。	図書	JICA横浜 海外移住資料館 所蔵
15 盆 中央学園創立10周年記念 1954年		寄贈者である松原佳代氏は、1989年9月に中央学園の学園長に就任。現在も、学園長を務めている。同学園に通学した経験をもつ松原氏は、学園長に就任後、メキシコ人子弟の受入、成人向け日本語コースの開設など、カリキュラムの更新を行い、日本・メキシコ間の文化理解・交流を深めるとともに、学園の存続に多大なる貢献を果たしている。	標本	JICA横浜 海外移住資料館 所蔵
16 灰皿 中央学園創立25周年記念 1969年			標本	JICA横浜 海外移住資料館 所蔵
17 壁掛け 中央学園創立35周年記念 1979年			標本	JICA横浜 海外移住資料館 所蔵
18 置時計 中央学園創立50周年記念 1994年			標本	JICA横浜 海外移住資料館 所蔵

	資料名	画像	解説	資料 種別	所蔵
19	『学院要覧. 88-89』 日本メキシコ学院、1989年発行		日本メキシコ学院の開校10周年を記念して刊行されたもの。2017年9月、本学院は40周年を迎えた。約37,000㎡の敷地に13棟の建物、大運動場、球技場、プールなどを備える同学院。2016年12月時点の生徒数は、メキシココースでは幼稚園から高等部まで計1045名、日本コースでは小学校と中学校で計141名であり、合計1186名のうち約25%が日本人児童である。	図書	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
20	日本メキシコ学院の缶バッジ			標本	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
21	日本人メキシコ移住90周年祭のガイドブックとパンフレット 『いまきらめく太平洋：日本人メキシコ移住90周年祭ガイドブック』 『メキシコ移住90周年祭』 日本人メキシコ移住90周年記念事業団、1987年発行		榎本殖民団がメキシコに入植してから90年後の1987年、メキシコでは、日本人メキシコ移住90周年を記念して、入植した5月を中心に、様々な記念行事が執り行われた。本ガイドブックには、各地で開催された行事の内容が記されている。	図書	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
22	レコード『日本人メキシコ移住90周年記念』 Picture disk, 1987年制作		日本人メキシコ移住90周年を記念して制作されたレコード。 A面「愛する国々への讃歌」B面「アミーゴ音頭」。 1987年に開催された記念祭典において、コーラス部隊により合唱された。	音声類	村井澄 所蔵
23	日本人メキシコ移住90周年祭の式典参加章 1987年			標本	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
24	ノート: Mexico Primero 日本人メキシコ移住90周年記念事業団発行		チアパス州タパチュラ市にあった『ラ・パス』文房具店で約50年前に販売されていたノートを、日本人メキシコ移住90周年を記念して復刻したもの。当時は付けられていなかった日本語訳が付されている。	文書	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
25	日本人メキシコ移住100周年記念のメダルと帽子 1997年		榎本殖民団がメキシコに入植してから100年後の1997年、日本人メキシコ移住100周年を記念して作られた。	標本	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
26	日本人メキシコ移住100周年記念切手 1997年		1997年5月12日、日本人メキシコ移住100周年を記念して発行された。メキシコ神話の「鷲騎士」及び「虎騎士」を描いており、中央部は日墨両国共通のシンボルとして「太陽」がアレンジされている。原画はメキシコ在住日系人画家のルイス西沢が描いたもので、メキシコで発行された同記念切手のデザインにも採用されている。	標本	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵
27	日墨修好通商条約署名100周年記念切手 1988年		1988年11月13日、日墨修好通商条約署名100周年を記念して発行された。	標本	JICA横浜 海外 移住資料館 所蔵